



2021年2月8日

日本鉄道労働組合連合会

J R 西 労 組 第 39 回 中 央 委 員 会

危機を総団結で乗り越えるべく 当面の活動方針を決定！

2月5日、J R 西 労 組 は 第 39 回 中 央 委 員 会 を 開 催 し た 。 緊 急 事 態 宣 言 が 発 令 ・ 延 長 さ れ る 中 、 ホ テ ル グ ラ ン ヴ ィ ア 大 阪 を メ イ ン 会 場 に 、 各 地 本 (金 沢 ・ 京 都 ・ 和 歌 山 ・ 神 戸 ・ 福 知 山 ・ 岡 山 ・ 米 子 ・ 広 島 ・ 福 岡) を ウ ェ ブ 会 議 シ ス テ ム で つ な ぐ 形 式 で 、 定 期 大 会 に 続 き 、 感 染 症 対 策 に 万 全 を 期 し て 会 場 分 散 か つ 短 時 間 で の 開 催 と し た 。



冒頭、上村良成中央執行委員長（J R 連 合 副 会 長 ） が 挨拶 に 立ち、「経験したことのない状況下での中央委員会」としつつ、安全をはじめとする主要課題に対する見解を語り、建設的で将来に繋がる討議を要請した。中でも、2021 春季生活闘争については「J R 連 合 方 針 に 基 づ き、『年 度 初 に お け る 基 準 昇 給 完 全 実 施』『ベ ー ス ア ッ プ 要 求 見 送 り』

『年間臨給3.5ヶ月』の要求を提起する」と述べ、「初となるベア要求の見送りは忸怩たる思い。巨額の赤字が見込まれ、利用回復には相当な時間を要することが想定される以上、会社を存続させ、雇用と生活を守ることを最優先する方針に理解を」と訴えた。

来賓挨拶として、J R 連 合 国 会 議 員 懇 談 会 で 副 会 長 を 務 め る 泉 健 太 衆 議 院 議 員 (京 都 3 区)、同 じ く 幹 事 を 務 め る 岸 本 周 平 衆 議 院 議 員 (和 歌 山 1 区) から ビ デ オ メ ャ ー ジ が 寄 せ ら れ 、 そ れ ぞ れ 連 帯 の 意 を 示 し た 。 ま た 、 J R 連 合 か ら は 中 村 鉄 平 交 通 政 策 部 長 が 出 席 し 、 昨 年 実 施 し た 署 名 活 動 に 対 す る 謝 意 を 伝 え、「コ ロ ナ 禍 が 収 束 す る ま で の 雇 用 調 整 助 成 金 の 延 長 等 に む け 、 さ ら な る 取 り 組 み を 展 開 し て い く 。 一 方 で 、 J R 産 業 の 将 来 を 見 据 え た 議 論 も 進 め て い く 」 と 語 り 、 今 後 の 活 動 に 対 す る 一 層 の 協 力 を 求 め た 。

議事では、執行部から提起された活動方針案に対して、14人の中央委員・特別中央委員から、安全確立にむけた取り組み、新型コロナウイルス感染症への対応、中期経営計画の見直しへの対応、2021 春季生活闘争、組織課題などについて発言があり、執行部答弁、羽野敦之書記長からの総括答弁を経て、全議案を満場一致で決定した。その後、委員会宣言を採択し、上村委員長の団結ガンバローで締めくくった。